

営農情報



土づくり資材の施用で異常気象への対策を

土づくり資材の施用を行うことで根の健全な生育が促され、高温による白未熟粒の低減や安定した品質・収量の向上につながります。とりわけケイ酸やリン酸が多く含まれる土づくり資材は、根からの養分吸収を通じて稲体を強くし、病害虫に対する抵抗力が高まります。また、資材に含まれるアルカリ成分は土壌中カドミウムの吸収抑制にも効果があり、安全・安心な米の生産につながります。

ケイ酸の効果

- 葉を硬くし、葉いもち病や害虫への耐性を高めます。
- 茎を強くし、倒伏に強くなります。
- 葉が直立し、登熟向上により品質・収量が向上します。



ケイ酸の吸収率が高いから、少ない施用量で効果を発揮

散布がラクだし、低コストになるヨ!

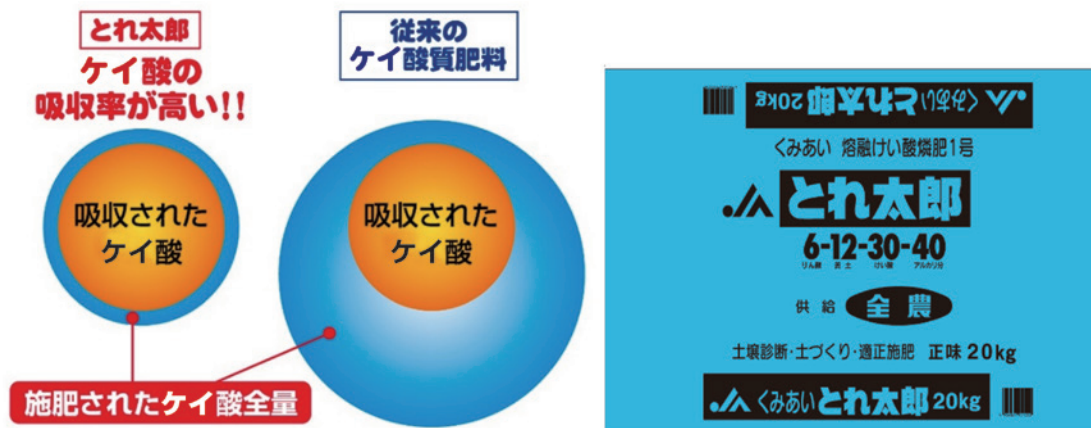
リン酸の効果

- 生育が旺盛になり、茎数が増えます。
- 茎葉が良く伸び、茎が太く倒伏に強くなります。
- 葉から籾への養分移行が容易となり、品質・収量が向上します。

カリの効果

- 根張りを良くし、根の活性の維持に寄与します。
- 日照不足時には光合成をサポートします。
- ^{かん}稈(茎)を強くして耐倒伏性を高めます。

※JAレーク滋賀では土づくり資材として、従来のケイ酸質肥料よりケイ酸の吸収率が高い「とれ太郎」の散布をおすすめしています。



肥料価格高騰対策情報

肥料価格高騰対策(春肥)の申請手続きの情報は、事業実施主体である滋賀県農業再生協議会から受付期間などの情報が示されておりません。最新情報が開示されましたら広報紙「ゆいっと」やホームページに掲載させていただきます。

また、滋賀県のホームページで「滋賀県」「肥料高騰」で検索いただくと、県の事業内容などの情報が閲覧できます。

肥料高騰対策支援にかかる相談窓口

営農経済センター

各地区の営農経済センターの
連絡先はこちら→

